

日本郵船 自動車運搬船「PISCES LEADER」の見学会を実施

当協会は、「海と日本プロジェクト」の一環として、会員会社をはじめ、関係団体と連携し、商船や造船所の見学会などを「船ってサイコ〜」と題し実施し、海運の重要性を一般の方々に広く認識いただくべく広報活動に力をいれております。

今般、7月21日（土）・22日（日）に横浜・大さん橋にて開催された「海洋都市横浜うみ博」の一環として、日本郵船のご協力のもと、21日に自動車運搬船「PISCES LEADER」の見学会、22日にはタグボートの体験乗船会を開催し、2日間で親子をはじめとする約1,300名が参加しました。

また、22日に開催された「海の女子会」に、日本郵船 射手一等機関士が参加し、外航船員の仕事の魅力を紹介しました。



本船見学に参加者は、7,000台以上の自動車を積載できる全長約200m、高さ約54mの巨大な船に乗りこみ、貨物室では、自動車の積み付けの実演を目の当たりにしたほか、積み込んだ自動車が動かないよう床に固定する作業（ラッシング）や、エンジン模型の分解・組立などを行うブースにて機関士の仕事等を体験することもできました。また、積載する車高に合わせて天井の高さを変える「リフトブルカー」のほか、膨張式救命いかだや、船の歴史・様々な船種を紹介したパネルなども展示され、参加者は楽しみながら船・海運に関する理解を深めることができました。

操舵室（ブリッジ）では、同社船長や航海士から操船する計器などの説明を受けたほか、海図の読み方・針路の取り方を学んだり、船長服・船長帽の試着スペースにて一緒に記念撮影をする姿が多く見られました。さらに、岸壁では肉や魚介類などの生鮮食品の輸送に使用される冷凍・冷蔵コンテナが展示され、実際に中に入り庫内温度を体感することもでき、様々な角度から海運に親しみを持っていただける機会となりました。

また、当日は学校教育関係者も招待し、見学を終えた参加者から「車を沢山積載するための工夫がされていることに驚いた」「様々な船員の仕事を体験することができ、充実した見学会だった」などのコメントが寄せられました。

当協会は引き続き会員会社と連携し、日々の暮らしを支える海運について広く知っていただくための活動を実施してまいります。

